

健康福祉学部 福祉栄養学科 2026年度カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー
(卒業認定・学位授与の方針)

Ⅰ. 知識・技能	
1	人間力を培うための幅広い教養を身につける。
2	食品と栄養に関する専門的な知識と技能を身につける。
3	健康増進や疾病と栄養とのかわりに関する専門的な知識と技能を身につける。
4	語学力および各種統計情報を適切に処理し、有効に活用できる能力を身につける。

Ⅱ. 思考力・判断力・表現力	
1	自分の考えを論理的に説明し、人を説得することができる。
2	健康や栄養に関する諸問題を発見し、科学的根拠にもとづいて分析評価できる。
3	一人ひとりの特性やライフステージにあわせて適切な栄養管理・栄養教育ができる。
4	傷病者の病態にあわせて適切な栄養管理・栄養教育ができる。

Ⅲ. 主体性・多様性・協働性	
1	多様な価値観を受容し、立場を相対化することができる。
2	他者と協働しながら諸問題の解決を図ることができる。
3	栄養士・管理栄養士として福祉社会に貢献しようとする強い意志と意欲を持ち続けることができる。

	1年次 基礎から総合まで教養を幅広く身につけると同時に、専門教育の基礎を修得します。	2年次 教養を深めながら、栄養と食品に関する専門知識を修得します。福祉との関連についても学んでいきます。	3年次 栄養学に基づく体系的な知識を修得し、栄養と食への理解を促進します。	4年次 4年間の学修成果として卒業研究を行い、1年次から培ってきた知識と経験を総合的に捉えます。	
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ			基礎分野
総合教養	総合教養				
言語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ オーラルコミュニケーション フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅲ			
情報と伝達	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ データサイエンス入門				
健康とスポーツ	保健体育 体育実技				
自然と科学	基礎数学 生物学入門 基礎科学概論 生命科学概論 統計学				
人間と社会	哲学 人間学 倫理学 心理学 法学 日本国憲法 人権教育 経済学 政治学 社会学 国際関係論 日本史と世界 社会福祉概論 多文化と共生				
キャリア教育			キャリア開発		
栄養を知るための基礎を学ぶ	有機化学 栄養の科学				
食べ物について学ぶ	食品学Ⅰ 調理学	給食経営管理論Ⅰ 食品衛生学 食品加工学 食品学Ⅱ	給食経営管理論Ⅱ		専門科目
栄養と健康について学ぶ	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 公衆衛生学 基礎栄養学Ⅰ 生化学Ⅰ 健康管理論	ライフステージ栄養学 食育論 運動栄養学 基礎栄養学Ⅱ 生化学Ⅱ 臨床栄養学総論 病理学Ⅰ 病理学Ⅱ	栄養指導・教育論Ⅰ 公衆栄養学Ⅰ 臨床栄養学各論Ⅰ 栄養アセスメント 環境栄養学 公衆栄養学Ⅱ 栄養学特殊講義 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 栄養薬理学 生活習慣病論 栄養指導・教育論Ⅱ 臨床栄養学各論Ⅱ	栄養ケア・マネジメント	
栄養学の専門知識を実感する	栄養情報論実習 解剖生理学実験Ⅰ 公衆衛生学実験 調理学基礎実習Ⅰ	解剖生理学実験Ⅱ 食品学実験Ⅰ 調理学基礎実習Ⅱ 基礎栄養学実験 食品学実験Ⅱ 生化学実験Ⅰ 食品衛生学実験	栄養生理学実験 給食経営管理論実習 生化学実験Ⅱ ライフステージ栄養学実習 栄養教育論実習 臨床栄養学実習 治療食実習 栄養サポートチーム(NST)演習	研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 食品開発・品質管理演習 食育実践演習	
福祉現場における栄養支援について学ぶ	福祉栄養論Ⅰ 福祉栄養論Ⅱ	「食」介護・支援論			
フードスペシャリストに必要な知識を学ぶ			食料経済学 フードコーディネート論 フードスペシャリスト論		
栄養教諭のための必要知識を学ぶ			栄養教諭の職務 学校栄養教育概論 学校栄養指導論		
現場で実践力を学ぶ			給食経営管理臨地実習 臨床栄養学臨地実習Ⅰ 臨床栄養学臨地実習Ⅱ	地域保健臨地実習	
教育職員免許に関する科目	教職概論 教育原論	教育心理学 教育社会学 教育課程論 特別活動論 道徳教育論 生徒指導論 特別支援教育概論	教育方法論(ICT活用含む) 学校教育相談	総合的な学習の時間の指導法 事前・事後指導 栄養教育実習 教職実践演習(栄養教諭)	

※赤字は卒業必修科目 ※黄緑字は選択必修科目 ※緑字は選択科目(管理栄養士国家試験受験資格取得に必要な科目)
※青字は自由科目で、卒業に必要な単位に含まれません。